
警 防 関 係

平成25年度消防本部業務重点施策 「安全で安心なまちづくり」

警防部門

現場指揮体制の充実強化

複雑多様化する災害現場の活動部隊を効果的に活用し、かつ安全管理を徹底して災害対応力の強化及び部隊運用能力の向上を図る。

救急・救助体制の充実強化

救急業務体制の総点検を実施し、救急隊員の資質の向上を目指す。更に消防隊・救急隊及び医師投入ツールとの連携活動を強化し住民サービスの向上を図る。

高度救助資機材等を駆使し複雑多様化する各種災害に対応できるよう想定訓練を実施し、高度救助隊及び桜川救助隊の発足を目指し住民サービスの均等化を図る。

警防戦術の向上と技術の伝承

車両積載資機材の取扱い訓練と想定訓練を実施し、警防戦術の向上を図るとともに大量退職者に備え、警防戦術を伝承し、警防技能管理基準により警防力の充実強化を目指す。

警防分野について

近年、都市構造、建築構造の変化や危険物の増加などに伴い、災害態様が複雑多様化していることから、それらの火災、救助、風水害をはじめとした様々な災害に際し、迅速、的確な消防活動を実施し、被害を最小限に止めるよう努めています。

救急業務については、市民の安心・安全を守るため、プレホスピタル・ケア(病院前救護)の充実を図るとともに、住民に対する応急手当の普及啓発や救急救命士・救急隊員が行う処置の充実・強化を推進しています。

また、従来の救急業務に加え、医療機関との連携を含むメディカルコントロール体制の充実、救急救命士の処置範囲の拡大に伴う研修体制や装備の充実を図り、救急業務を円滑かつ効率的に遂行できる体制を構築し、救急業務の高度化に対応しています。

平成24年度中におけるドクターヘリ要請件数は46件、ドクターカー要請件数は13件となっており、重篤事案発生時における医療資源の早期現場投入をキーワードに、通信指令室と現場出動隊が一体となり、傷病者の予後を考慮した活動を最優先に取り組んでいます。

教育訓練については、集団災害を想定した机上シミュレーション訓練等、様々な災害を想定した訓練・研修を行い、警防戦術の向上を図るとともに、団塊世代の大量退職者に備え、知識・技術の伝承を継続的に実施し警防力の維持向上に努めております。



消防学校等入校状況

(平成24年度)

教養区分		階 級	合 計	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	
消防 大学 校	専科	警 防 課	1					1				
	緊 援 隊	高度救助・特別高度救助	2					2				
研 修 所 (東京)		救 急 救 命 士	2						1	1		
消 防 学 校	初 任 教 育	初 任 科	10								10	
	専 科 教 育	火 災 調 査 科	2				1	1				
		救 急 科	8									8
		救 助 科	2							2		
		特 殊 災 害 科	2					2				
		初 級 幹 部 科	2							2		
	特 別 教 育	薬剂投与講習会	学 校	2					1	1		
			北九州	3						3		
		潜 水 講 習 会	1								1	
		操 法 指 導 者 講 習 会	3				1			2		
合 計			42				2	7	13	2	18	

教養訓練の実施状況

(平成24年度)

種別	署別 計	消防本部	筑西消防署	関城消防署 筑西消防署	明野消防署 筑西消防署	協和分署 筑西消防署	結城消防署	桜川消防署	真壁分署 桜川消防署	大和分署 桜川消防署
職場教養	2,580	5	344	320	326	320	356	232	346	331
操法訓練	246		20	82	5	5	12	74	48	0
模擬火災訓練	374		15	16	191	12	45	36	47	12
体力訓練	1,042		270	205	101	119	21	120	105	101
救助訓練	750		175	51	12	118	228	24	132	10
署外訓練指導	419	14	60	25	7	14	131	128	30	10
合計	5,540	19	942	703	648	592	811	637	720	468

消防水利の現況

(平成24年度)

種別	計	防火水槽		私設防火水槽	消火栓		プール	貯水池等	基準数	充足率
		20m ³ 級	40m ³ 以上		公設	私設				
筑西市	3,232	210	695	102	2,193	0	32	0	2,823	114.5%
結城市	1,336	77	156	85	986	18	14	0	1,174	113.8%
桜川市	1,435	148	306	80	835	0	16	50	1,451	98.9%
合計	6,003	435	1,157	267	4,014	18	62	50	5,448	110.2%

救急業務について

私たちの生活の中で偶発的に発生する事故、怪我、病気、これに対応するのが救急業務です。小さい怪我から、生命にかかわる大事故まで、その内容は多種多様にわたります。

さて、平成24年度中の広域圏内における救急活動状況をみると、出動件数は7,401件で、搬送人員については6,861人です。これは、広域圏内でおよそ1日20件、圏内住民の30人に1人が救急隊によって搬送されたこととなります。

次に、事故種別搬送人員でみると、急病が一番多く4,130人と全体の60.2%を占めています。これに、交通事故950人(13.8%)、一般負傷786人(11.4%)と続いています。



広域圏内救急件数

(平成24年度)

事故種別 区分	計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				不搬送
												転院搬送	医師搬送	資材搬送	その他	
出場件数	7,401	11		7	926	91	30	832	47	94	4,561	766	1		35	654
搬送件数	6,747	5		3	848	89	30	784	39	59	4,123	761			6	
搬送人員	6,861	6		3	950	89	30	786	42	59	4,130	760			6	

広域圏内覚知別出場件数

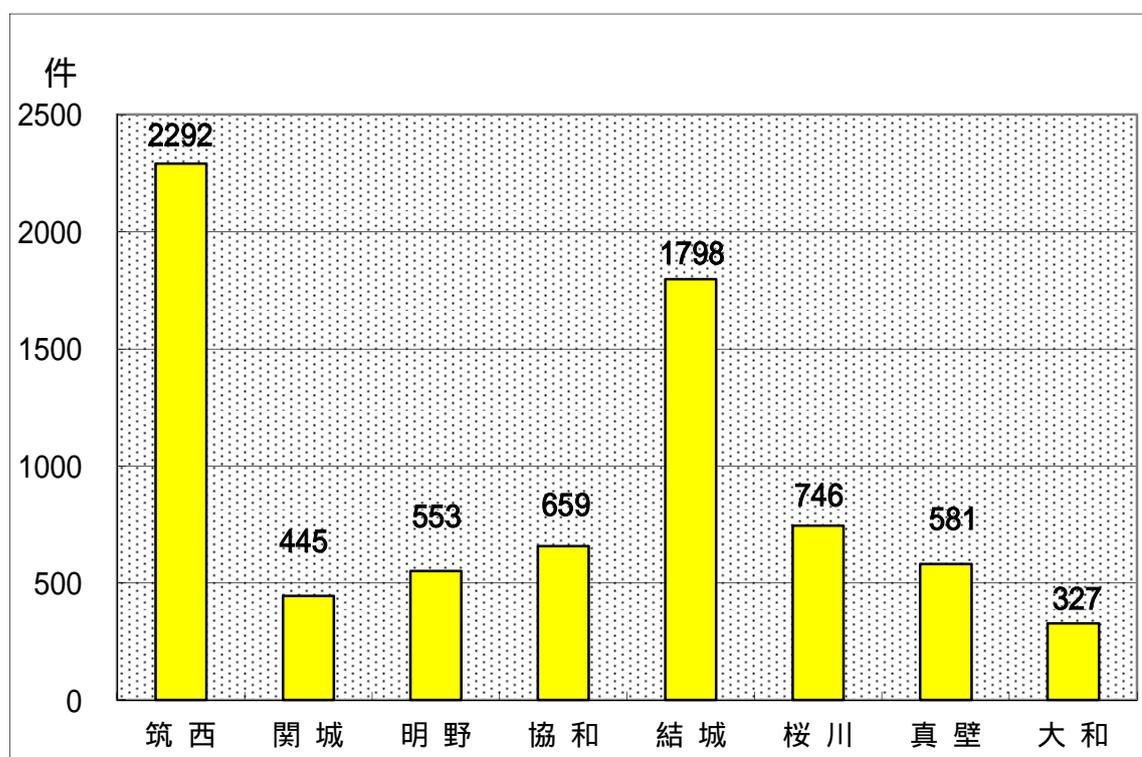
(平成24年度)

事故種別 区分	計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				不搬送
												転院搬送	医師搬送	資材搬送	その他	
携帯119	1,873	1		1	481	28	14	229	18	30	1,062	1			8	216
固定119	4,123	3		2	189	57	13	516	12	42	2,976	308			5	306
加入電話	1,052	1		3	208	3	1	47	14	14	310	447			4	86
駆け付け	178				3	3	2	22	3	5	140					6
その他	175	6		1	45			18		3	73	10	1		18	40
合計	7,401	11		7	926	91	30	832	47	94	4,561	766	1		35	654

各 署 別 ・ 月 別 救 急 出 場 件 数

(平成24年度)

月別 署別	計	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
筑西	2292	174	164	147	216	184	192	171	174	219	257	197	197
関城	445	30	32	32	40	43	29	38	39	42	53	36	31
明野	553	41	38	35	49	38	45	45	43	56	63	51	49
協和	659	52	44	57	53	58	61	49	57	59	69	51	49
結城	1798	129	127	136	159	155	134	173	130	182	193	132	148
桜川	746	48	60	55	59	61	61	47	74	65	80	76	60
真壁	581	50	36	39	45	49	50	41	45	58	64	52	52
大和	327	19	29	17	31	33	23	25	32	33	31	29	25
合計	7401	543	530	518	652	621	595	589	594	714	810	624	611



年齢区分別・傷病程度別搬送人員

(平成24年度)

年齢区分 傷病程度	計	新生児	乳幼児	少年	成人	老人
		生後28日以内	29日～7歳未満	7～18歳未満	18～65歳未満	65歳以上
死亡	181		2	1	44	134
重症	787	3	3	10	215	556
中等症	2,573	18	70	72	859	1,554
軽症	3,318	6	241	246	1,625	1,200
その他	2				2	
合計	6,861	27	316	329	2,745	3,444



事故種別・傷病程度別搬送人員

(平成24年度)

事故種別 傷病程度	計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
		死亡	181			2	5	1		10	1	14
重症	787	3			44	8		75	2	11	439	205
中等症	2,573				131	36	5	226	10	20	1,658	487
軽症	3,318	3		1	770	44	25	475	29	14	1,883	74
その他	2										2	
合計	6,861	6	0	3	950	89	30	786	42	59	4,130	766

過去5年間の救急状況

(平成24年度)

年度別	事故種別	計	火	自	水	交	労	運	一	加	自	急	そ	一
			災	然	難	通	働	動	般	害	損	病	の	日
			災	害	難	通	害	技	傷	害	為	病	他	平均
H20	出場件数	6,916	18		3	1039	83	38	749	30	101	4068	787	18.9
	搬送人員	6,415	13		1	1095	80	39	702	23	61	3653	748	17.6
H21	出場件数	6,776	9		5	981	62	39	736	39	101	4005	799	18.5
	搬送人員	6,290	5		3	1032	61	38	683	37	64	3604	763	17.2
H22	出場件数	7,417	12	1	2	1020	83	24	765	41	81	4535	853	20.3
	搬送人員	6,873	7	1	2	1032	78	24	704	36	63	4107	819	18.8
H23	出場件数	7,458	18		4	969	89	30	806	32	97	4545	868	20.4
	搬送人員	6,878	11			952	86	30	773	24	69	4098	835	18.8
H24	出場件数	7,401	11		7	926	91	30	832	47	94	4561	802	20.3
	搬送人員	6,861	6		3	950	89	30	786	42	59	4130	766	18.8



救助出動状況



(平成24年度)

出場件数	火災	交通事故	水難事故	機械事故	建物事故	その他の事故
151	46	63	10	5	1	26

(平成24年度)

出場車両数	火災	交通事故	水難事故	機械事故	建物事故	その他の事故
705	294	243	73	18	2	75

高速道救急件数

北関東自動車道路(桜川・筑西IC～笠間西IC/桜川・筑西IC～真岡IC)

(平成24年度)

区 分	交通事故	急 病	そ の 他	合 計
出 場 件 数	7	0	0	7
搬 送 人 員	6	0	0	6

警防ビデオ一覧表

No.	題 名	No.	題 名
1	救急技術 1 (心肺蘇生)	19	新しい応急処置の理論と実際 IV 在宅医療継続中の傷病者の搬送上の留意事項等
2	救急技術 2 (頭部外傷)		
3	救急技術 3 (頸部・脊椎・脊椎外傷)	20	救急救命処置の理論と実際 Vol, 1 器具を用いた気道確保と人工呼吸
4	救急技術 4 (胸部外傷)		
5	救急技術 5 (腹部外傷)	21	救急救命処置の理論と実際 Vol, 2 半自動式除細動器による除細動(乳酸加リンゲル液を用いた静脈確保)
6	救急技術 6 (骨盤・四肢外傷)		
7	救急技術 7 (多発外傷)		
8	救急技術 8 (熱傷)	22	救急救命処置の理論と実際 Vol, 3 救急救命処置の活動要領
9	救急技術 9 (救急資機材の使用法)		
10	応急処置 1 (人工呼吸と心臓マッサージ)	23	『応急手当指導者教育ビデオ』 自信のもてる指導法(講習会の心構えと話し方)
11	応急処置 2 (骨折・脱臼等の処置と搬送)		
12	応急処置 3 (創傷とその処置・止血法)	24	5分間の重み 1 (応急手当が貴重な命を救う)
13	応急処置 4 (包帯法)		
14	応急処置 5 (熱傷・凍傷・感電と処置) 半自動式除細動器による除細動(乳酸加リンゲル液を用いた静脈路確保の輸液)	25	5分間の重み 2 (応急手当が貴重な命を救う)
		26	勇気を出して! 応急手当・救急車が来る前に
15	応急処置 6 (脳貧血・日射病・熱射病)	27	外出先で地震にあったら!
16	新しい応急処置の理論と実際 I 血圧計、聴診器及びパルスオキシメーターの使用方法、適応症例等	28	備えあれば憂いなしー地震防災対策一
		29	大地震 日頃の備えが身を守る (防災マニュアル・阪神大震災の教訓)
17	新しい応急処置の理論と実際 II 心電図、心電図伝送装置、喉頭鏡、マギール鉗子及び経鼻エアウェイの使用法等 (乳酸加リンゲル液を用いた静脈確保)	30	目で見る救急業務
		31	平成8年度総合防災訓練の記録 ・東海地震対応訓練 ・南関東地域直下の地震対応訓練
18	新しい応急処置の理論と実際 III ショックパンツ、自動式心マッサージ器の使用方法、適応症例等	32	地震だ! 火を消せ!! 防災知識啓発ビデオ
		33	重症喘息発作のプレホスピタルケア (胸部外傷部圧迫法による呼吸補助法)
		34	自主防災組織の救助訓練用ビデオ

消防ポンプ自動車等の現勢

(平成25年3月31日現在)

所属	連番	番号	車両別	種別	排気量 (cc)	車名	配置年月	備考
消防本部	1	1	指揮車	普通車バン	2693	トヨタ	H22.3	車載映像伝送システム付
	2	2	水槽付ポンプ車	1-A型A2級	7120	イズズ	H5.3	積載水1500ℓ
	3	3	救急車	高規格	3370	トヨタ	H10.3	
	4	4	指令車	普通ライトバン	1490	日産	H9.9	
	5	5	連絡車	普通乗用車	1797	トヨタ	H22.2	
	6	6	連絡車	普通乗用車	1580	トヨタ	H6.10	
	7	7	マイクロバス	キャブオーバー	4160	トヨタ	H5.10	
	8	8	火災原因調査車	普通乗用車	1590	スズキ	H7.3	
	9	9	連絡者	普通乗用車	990	トヨタ	H20.7	肥田猛氏から寄贈
筑西消防署	10	1	水槽付ポンプ車	CD1A2級	4009	日野	H24.2	CAFS搭載・積載水600ℓ
	11	2	普通ポンプ車	CD1A2級	4570	イズズ	H10.3	
	12	3	水槽付ポンプ車	1-A型A2級	7960	日野	H14.12	積載水1500ℓ
	13	4	救助工作車	Ⅲ型	6400	日野	H23.1	緊急消防援助隊登録
	14	5	化学車	Ⅱ型A2級	7960	日野	H11.12	水1.5KL 薬剤0.5KL
	15	6	梯子車	38m級A2型	20780	日野	H8.11	緊急消防援助隊登録
	16	7	水槽車	Ⅱ型小型P付	20780	日野	H14.12	積載水10000ℓ 緊急消防援助隊登録
	17	8	搬送車	普通トラック	4890	トヨタ	H13.10	3.5tクレーン付 緊急消防援助隊登録
	18	9	救急車	高規格	2690	トヨタ	H21.12	緊急消防援助隊登録
	19	10	救急車	高規格	3370	トヨタ	H16.11	
	20	11	指令車	普通ライトバン	1830	日産	H7.7	
	21	12	防火指導車	普通ライトバン	1490	日産	H16.11	
	22	13	広報車	ステーションワゴン	1490	日産	H19.3	
	23	14	防火査察車	普通乗用車	1490	ホンダ	H7.9	関彰商事寄贈
関城署	24	1	水槽付ポンプ車	1-A型A2級	6403	日野	H18.3	積載水1500ℓ
	25	2	救急車	高規格	3370	トヨタ	H12.11	
	26	3	指令車	普通ライトバン	1490	日産	H13.6	
明野署	27	1	水槽付ポンプ車	1-A型A2級	6403	日野	H18.3	積載水1500ℓ
	28	2	救急車	高規格	3370	トヨタ	H18.3	
	29	3	指令車	普通ライトバン	1490	日産	H17.11	
協和署	30	1	水槽付ポンプ車	1-A型A2級	6400	日野	H19.3	積載水1500ℓ
	31	2	救急車	高規格	2690	トヨタ	H25.2	
	32	3	指令車	普通ライトバン	1490	日産	H17.11	
結城消防署	33	1	普通ポンプ車	CD1A2級	4330	イズズ	H7.3	
	34	2	水槽付ポンプ車	1-A型A2級	6400	日野	H25.2	CAFS・救助資機材搭載 積載水1500ℓ 緊急消防援助隊登録
	35	3	水槽付ポンプ車	1-A型A2級	7960	日野	H17.3	積載水1500ℓ
	36	4	化学車	Ⅱ型A2級	7410	日野	H3.12	水1.5KL 薬剤0.5KL
	37	5	梯子車	30m級A2型	17230	日野	H5.12	
	38	6	救急車	高規格	2700	トヨタ	H23.12	緊急消防援助隊登録
	39	7	救急車	高規格	2700	トヨタ	H19.3	緊急消防援助隊登録
	40	8	搬送車	普通貨物バン	3150	日産	H14.2	6人乗
	41	9	指令車	普通ライトバン	1490	トヨタ	H23.3	
桜川消防署	42	1	水槽付ポンプ車	CD1A2級	4000	日野	H19.3	積載水600ℓ 緊急消防援助隊登録
	43	2	水槽付ポンプ車	1-A型A2級	7960	日野	H15.11	積載水1500ℓ 緊急消防援助隊登録
	44	3	救急車	高規格	2690	トヨタ	H21.12	
	45	4	指令車	普通ライトバン	1490	日産	H15.10	
	46	5	山林パトロール車	普通乗用車	1590	スズキ	H7.3	山林火災用
真壁署	47	1	普通ポンプ車	CD1A2級	4890	日野	H11.11	
	48	2	水槽付ポンプ車	1-A型A2級	7960	日野	H17.3	積載水1500ℓ
	49	3	救急車	高規格	3370	トヨタ	H15.11	
	50	4	指令車	普通ライトバン	1490	日産	H15.10	
大和署	51	1	水槽付ポンプ車	1-A型A2級	7960	日野	H10.10	積載水1500ℓ
	52	2	救急車	2B型	3370	トヨタ	H14.1	

応 援 協 定 一 覧 表

協 定 先		締結年月日	応援協定の内容
消 防 本 部	芳賀地区広域行政事務組合消防本部	S.48.11. 1	火災・救急の災害
	小山市消防本部	S.48.11. 1	〃
	茨城西南地方広域市町村圏事務組合消防本部	S.54. 6. 6	〃
	石岡市消防本部	S.54. 6. 6	〃
	笠間市消防本部	S.54. 6.12	〃
	つくば市消防本部	S.54. 8. 1	〃
隣 接 市 町 村	栃 木 県 小 山 市	S.48.11. 1	火災・その他の災害
	栃 木 県 真 岡 市(二宮)	〃	〃
	栃木県芳賀郡益子町	〃	〃
	栃木県芳賀郡茂木町	〃	〃
	笠 間 市	〃	〃
	石 岡 市(八郷)	〃	〃
	つ く ば 市(筑波)	〃	〃
	下 妻 市	〃	〃
結 城 郡 八 千 代 町	〃	〃	
古 河 市(三和)	〃	〃	
広 域 圏 内 事 業 所	筑西消防署管内 10事業所	S.51. 7.10	人命救助を要する災害
	関城分署管内 6事業所	〃	〃
	明野分署管内 5事業所	〃	〃
	協和分署管内 1事業所	〃	〃
	結城消防署管内 26事業所	〃	〃
	桜川消防署管内 7事業所	〃	〃
	真壁分署管内 5事業所	〃	〃
警 察	筑 西 警 察 署	S.48. 5. 7	地震・台風・火災・救急・通信施設
	結 城 警 察 署	〃	〃
	桜 川 警 察 署	〃	〃
県 他	JR東日本	H19. 6. 1	鉄道災害
	茨城県広域消防相互応援	H19. 10. 5	火災・その他の災害
	茨城県高速自動車道相互応援	H21. 3. 21	火災・救急及びその他の災害
	関東鉄道(株)	H21. 3. 1	鉄道災害
	筑西・真岡IC間における芳賀広域との相互応援	H20. 12. 20	火災・救急・その他の災害